

コロナワクチン充てんの流れ確認

集団接種 支える薬剤師

岐阜市で研修「練習重ねる」



新型コロナウイルスのワクチン接種に向けた岐阜市在住または在勤の薬剤師の研修が21日、同市大学西の岐阜薬科大で行われた。市薬剤師会所属の薬剤師がコロナワクチンの基礎知識や実務を学んだ。研修は24日も行い計54人が参加する。

(武藤直子)

同会が岐阜薬科大、岐阜大病院薬剤部と連携して開催。参加した薬剤師は、市内の集団接種会場での支援に当たり、医師がすぐにワ

新型コロナウイルスワクチンの接種に向けて研修に臨む薬剤師たち。岐阜市大学西、岐阜薬科大

クチンを接種できるようワクチンを調整し、注射器に充てんする役割を担う。

参加者は、同会の望月祐子理事と岐阜薬科大の林秀樹准教授から、ワクチンの特性や市内のワクチン接種のスケジュールなどの説明

を受けた後、ワクチンを1・8ミリの生理食塩液で薄め、0・3ミリずつ注射器に入れる作業を体験。ワクチンの準備の流れや気泡の取り除きなどを学んだ。

参加し、いずれも修了証を得たピノキオ薬局岐南店

の堀優太さんは「不眠不休で頑張る医療者のために、少しでも力になりたい」、

ケイ調剤薬局鹿島店の今尾若菜さんは「貴重なワクチンを無駄にしないよう、練習を重ねておきたい」と力を込めた。